

## 第7回 橋本市立学校適正規模・適正配置検討委員会 会議録

日時 令和5年10月12日 18:45～20:45

場所 教育文化会館 3階 第1研修室

出席委員 : 添田委員、東委員、戸島委員、北浦委員、福井委員、藤田委員、松田委員、西田委員、  
重入委員、宮地委員、廣岡委員、藪本委員、野上委員、今西委員、大上委員、新田委員、  
奥出委員

欠席委員 : 乾委員、佐藤委員、片浦委員

教育委員会 : 今田教育長、堀畑教育部長、阪口教育委員会参事、岡教育総務課長、中林教育総務課  
課長補佐、長谷川生涯学習課長、木下生涯学習課主幹、東教育総務課主査、中山

欠席 : 大谷学校教育課長、岡村学校教育課指導係長

公開状況 : 公開

傍聴者 : 2名

### 《次第》

1. 開 会
2. 調査・審議事項
  - (1) 基本方針見直し検討シートについて
  - (2) 事務連絡
3. 閉 会

	議 事
教育委員会	<p>本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。</p> <p>ただいまから第7回橋本市立学校適正規模・適正配置検討委員会を開催いたします。本日もよろしくご審議のほどお願いします。</p> <p>それでは、委員長に進行をお願いいたします。</p>
委員長	<p>前は大学の都合で、急にお休みさせていただき申し訳ございませんでした。</p> <p>皆さんのグループ討議については、まとめたものを報告いただき大変いい討議をされていたと思います。では皆様よろしくをお願いいたします。</p> <p>まず委員会の成立の確認と傍聴の確認をさせていただきます。</p> <p>事務局から報告をお願いいたします。</p>
教育委員会	<p>事務局から報告いたします。</p> <p>本日、3名の委員から欠席の連絡を受けています。</p> <p>従いまして20名中17名の委員の出席をいただいておりますので、過半数の委員の出席となりこの会が成立していることを報告いたします。</p> <p>なお、傍聴者は2名です。報告は以上です。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>傍聴者の方が2名いらっしゃるということですが、公開の会議として進行させていただいてよろしいでしょうか。(委員の了承をいただく)</p> <p>それでは、本日の調査・審議事項です。</p> <p>本日は基本方針見直し検討シートについて、各検討テーマの「まとめ」を事務局の方で記入いただいておりますので、順に確認を行い見直し検討シートを完成させていきたいと思っております。</p> <p>まず、審議に入る前に資料の確認をお願いします。</p>
教育委員会	<p>資料の確認をさせていただきます。本日は、事前送付の資料はありません。</p> <p>机の上に置いている資料のみとなります。</p> <p>初めに次第、そのあとに資料1の見直し検討シート、個表としてA3両面で15ページまであります。次に資料2の答申目次(案)としています。</p> <p>資料はそろっているでしょうか。資料の確認は以上です。</p>
委員長	<p>では、調査・審議事項に移ります。</p> <p>(1)の基本方針見直し検討シートについて、事務局から説明をお願いします。</p> <p>これにつきましては、これまで皆さんにご審議いただき、前回のグループ討議でも出た意見などをまとめさせていただいているというものだということでご承知ください。ではお願いいたします。</p>
教育委員会	<p>それでは資料1に基づきまして、これまでの検討委員会において事務局から説明させていただいた内容や委員の皆様からいただいた意見、あと、前回のグループ討議の中で出させていただいた意見を取りまとめています。</p> <p>その内容について改めて確認いただき、言っていた内容と異なるなどがありましたら、お伝えいただきたいと思います。</p>

	<p>1 ページ目は、これまでどおり大項目として4つの検討項目に分類しており審議を重ねてきた内容です。4つに分けた内容の確認を順に進めさせていただきます。それではA3の2ページからご覧ください。</p> <p>まず1つ目の検討項目「人口動態や児童生徒数の変化」についてです。</p> <p>下段について、検討テーマ1「中学校区別の児童生徒数の推移」を確認いただきました。事務局から提出させていただいた資料では、学校基本調査と住民基本台帳を基に今後の児童生徒数の推移を算出している表や、今いる子供たちがそのまま進学したという前提のもとでの推計を確認いただいています。</p> <p>下段真ん中に検討委員会の議論として、現在の推計については、出生のみによるものであり転出入が加味されていないということで、ここまで減少する可能性があるという危機感を持ってやろうというような資料として取り扱っていただきたいという意見などをいただいています。</p> <p>まとめとしましては、前回のグループ討議では時間の制約上、このテーマを取り扱えていないので、これまでの内容を踏まえ事務局で内容を記載させていただいています。国勢調査に基づく市の15歳未満の人口ですが、こちらは2000年を基準に2020年、2030年、2040年と今後減少が見込まれるという内容を記載しています。</p> <p>また、児童生徒数の推移について2020年を基準とし、小学生は、昨年生まれた子供たちが小学一年生になる2029年、令和11年には76.4%と減少が見込まれること。中学生は、昨年生まれた子が中学一年生になる2035年、令和17年が63.8%と見込まれることを記載しています。</p> <p>こういった統計資料では、子供の数というのは大きく減少する傾向が見られるというところですが、平成26年度の基本方針による児童生徒数の推計と実数には開きがあるため、今後のまちづくりによる転出入や住宅開発の動向にも注視が必要であるというまとめ方をさせていただいています。</p> <p>人口動態に関しては以上です。内容とご質問があればお願いします。</p>
委員長	今のところについて、何かございますか。
委員	地域としてはこの部分を一番気にしていたところですが、まとめの中で表現はどうか別として、推計値と実数に開きがあって、今後のまちづくりや住宅の動向等々というのをに入れていただいているので地域としては問題ないと考えます。
委員長	ありがとうございます。他に何かございますか。 では次の内容をお願いいたします。
教育委員会	<p>続きまして、次の3ページをご覧ください。</p> <p>「教育条件の改善」という視点では4つの小項目に分類されますが、検討委員会では、改善策については取り扱わないということで3つについて説明いたします。</p> <p>まず検討テーマ2「過去の統廃合の成果と課題」ということで、統合前・統合後のアンケート結果と、統合後の学校の様子について学校関係者からの聞き取り内容を</p>

紹介しています。

検討委員会の議論では、統合の結果を総括しているのかということで、「統合後、極端な学力などの向上は見られなかったが、多人数になりお互いに切磋琢磨し合うところとか、学習意欲が高まったり、学校行事が盛り上がったり、チャレンジ精神や自主性、協調性、リーダー性をより促すことができた。触れ合う先生の数が増えたり部活動の選択肢が広がったが、レギュラー争いが起きた。ただ、地域との関係は希薄になったとの話をもらっている。」という紹介をしています。

また、統合前のアンケートでは、子供には不安や心配の回答が多く見られたであったり、統合後の学校評価の結果で保護者から見た子供の様子ですが、不安や心配が払拭されている内容であったり、また子供へのアンケートを実施した後に追跡調査は行っていないが、不安などを取り除くための説明を教育委員会と学校が行っているという議論がされています。

まとめには、前回のグループ討議の内容をまとめており、下線が引かれているものと引かれていないものが出てきます。下線を引かせていただいたのが、グループ討議の中で中心的な考えとしていずれかの班で位置付けされた内容になっています。

①統合への準備ということで保護者や地域への説明、また、統合後の市の教育方針や学校の魅力ある教育カリキュラムの作成等が重要である。と発表されました。

また、②以降ですが、子供が増えることで、部活動、社会活動等の選択肢が増える。や、教室以外での居場所づくりをより一層進める必要がある。また今後、アンケート実施後は十分なアフターケアをすべきである。

などの意見が前回のグループ討議で出されていたので記載しています。

次の4ページをご覧ください。

検討テーマ3「適正規模・適正配置による学習指導上の効果と課題」です。

第2回の検討委員会で主に議論された内容ですが、1学年あたりの学級数や1学級の人数、少ない多いというところを学習指導上、人間関係、教職員の面に分類し効果や課題を整理しています。

また、下段中央の「小規模特認校」について、第5回の検討委員会で制度の内容を紹介し和歌山市の加太小中学校を事例紹介しています。

検討委員会の議論としましては、第1回の時に要望があった小規模な学校のデメリットだけでなくメリットも教えて欲しいという内容から、クラスや学年の規模に応じてどういった効果や課題があるのかというところを整理しています。

また、小規模特認校では、先進地である和歌山市が小規模特認校を導入した背景はどうだったのか、校区の話で言いますと自由に小・中学校を選択できる制度はどうだろうかといった意見や、校区の見直しなど、この検討委員会で色々な意見を出していきたいというような議論がありました。

まとめですが、前回のグループ討議では、大きく2つ中心的な考えが出されており、

①人口減少は避けられないことで、今後も統廃合は繰り返される可能性があるとは思いますが、だからこそ市全体の教育の質を向上させる取組が重要である。その

ためにも他校との交流をもっと盛んにすべきである。

②教師の指導力を高めていただいて、学級づくりへの姿勢を磨いていくことで、学習指導形態に工夫が生まれてくるのではないかと。そのためには校長先生のリーダーシップが最も重要である。としています。

また、③一人ひとりの子供を大切にすることが必要であるし、そのためにはあるべき教職員数も検討する必要があるのではないかと。

④⑤合わせますと、人間関係の固定化が心配になる、人数確保できると逆に学校行事が盛り上がりたり、多様な意見に触れたり切磋琢磨することができるのではないかと。というところで、クラス替えができたほうが良いという意見。

⑥小規模特認校は地域を越えた広がりが期待できる。  
などの意見が出されています。

次の6ページでは、検討テーマ5「適正規模・適正配置に関する実態把握」ということで、アンケート調査を保護者に行いました。

検討委員会では、調査票の内容の審議から始まり、審議された内容を基に実際の小中学校の保護者に対してアンケートを行い、最終的にはアンケート結果も確認いただきました。

検討委員会の議論では、下段中央の「アンケート結果に対する委員の意見」として、保護者目線からすれば、学校の規模というよりは、一人ひとりきちんと丁寧に指導が行われることが一番重視されているのではないかと。人数が少なくなってきたところへの課題を感じている方が多い。

最終的には、30人40人の学級は多いけれどクラスの人数が少なすぎるのも一方で良くない。やはり多すぎず少なすぎずというちょうどいいクラスの人数で、きめ細かな指導が受けられるのが保護者の方としての望みなのかなという議論が交わされています。

まとめとしては、こちらも前回のグループ討議で、①統廃合はおおむね肯定的に受けとめられているのではないかと。といった推察や、②③ですが、統廃合が進めばというところで、地域との繋がりが薄まるので地域の子供が地域行事に参加して地域を盛り上げていくことが大切である。

また、校区が広がるというところから、校区の設定にも配慮が必要であるや、市内の学校を自由に通える選択肢もあればいいのではないかと。といった意見が出されています。

次の7ページこちら「学校規模の適正化」では、国の基準もありますが、現在の橋本市の基本方針の中では、小学校は学年2から3学級編制、学校全体では12から18学級が望ましい。中学校では、学年3から4学級編制、学校全体では9から12学級が望ましいと定められているという内容を確認しました。

まとめでは、①適正規模を考える上では単に数だけではなく、多様な考えを持って臨むべきで、国の基準ではなく橋本市の実情を踏まえた「橋本基準」を作っていくことが重要である。と意見をいただいています。

	<p>次の8ページ「学校の適正配置」です。</p> <p>検討委員会では、スクールバスの運行状況を確認しています。通学距離の基準、橋本市が小学校で3キロ、中学校では5キロという距離の設定をしていることや、橋本中央中学校、隅田小学校のスクールバスの運行状況、また一部地域においては、タクシー通学に対しての補助を行っていることなどを確認いただいています。</p> <p>検討委員会の議論としては、通学がかなり遠い地区というのも実際にあり、学校区の見直しについても模索できないかという意見。</p> <p>小学校・中学校の下校時間に対するバスの運行状況というところの確認。特に中学校は、部活動のバスの運行についての確認をされたり、通学路、スクールバス運行ルートなどで実際の統廃合が行われた際に苦労した話を伺っているが、どう対処されているのかなどの意見がありました。</p> <p>こちらに対しては、現在、道路の安全対策ということで、通学路交通安全プログラムで改善箇所を順次改善している状況もお伝えしています。</p> <p>まとめの中では、①通学の安全性の確保は重要である。②スクールバスの運行では、距離だけではなく、通学路の道路整備の状況や、暑さや日没時間という気象条件なども加味する必要がある。また、アップダウンが多い橋本市では、地形や移動が困難な児童生徒への配慮、部活動などにも対応できるような運行を設定するなど、児童生徒に負担がないように最大限の配慮を行うことが重要である。</p> <p>こちらがグループ討議の中心的な考えとして発表されています。</p> <p>また、③スクールバスを運行する場合には、停留所にも地域の方の見守りがあれば、より安全性が確保できる。と考えられるという意見や、④通学時間が伸びる場合は、勉強時間や睡眠時間に差が生じることへの対応も考慮すべきである。という意見をいただいています。</p> <p>次のページ、こちらの「改善策」については、検討委員会の答申、統計資料、市の教育状況、基本方針などを総合的に踏まえ、教育委員会で作成することになっています。以上です。</p>
<p>委員長</p>	<p>かなりのページ数ですが、今ご報告のあった3ページから9ページまでのところで、何かございますか。</p> <p>皆さんの意見をまとめたつもりなんですけど、表現とかでもう少しこういう言い方がいいというのがあれば言っていただき対応させていただきます。</p>
<p>委員</p>	<p>4ページのまとめのところですが、①の人口減少は避けられないことだという部分ですが、おそらく3班のご意見から記載されているのかなと思うんです。</p> <p>避けられないことで、今後も統廃合が繰り返されるという文言だと決定的なようにちょっと印象を受けるので、避けられず、今後も統廃合が繰り返される可能性が高いぐらいの表現だったらどうなのかなと個人的に思ったので、3班さんとかのご意見をいただきたいと思うのですが。</p> <p>あと続きで、だからこそ市全体の教育の質を向上させる取組が重要である、そのためにもこのところが、それとともにという感じだったらどうかなと。</p>

	<p>教育の質の向上と交流、他校との交流が、結びついてしまっているように読取れるので、それとともにという表現の方が、3班さんのお話だと教育の質の向上というのと、学校の枠を超えた交流というのは、おそらく別で言われたんじゃないかなと思うので、そういう文言はいかがでしょうか。</p>
委員長	<p>まず、今後も統廃合が繰り返されるという断定的な言い方ではなく、ことが見込まれるであるとか、ことが予想されるであるとか、言い方があるだろうということと、おっしゃっている時はそれで繋がっていたんでしょうけど、一つの文章にしてしまうと、重要であるということとそのため交流するんだ、というふうになると、ちょっと直接的には繋がらないということなので、またとか、というような接続詞の方がいいのではというご意見です。</p> <p>何かご意見ございますか。特に今のところで、いや、そういう思いではないということであれば、今ご意見いただいたようなことでもいいので。</p>
委員	<p>前回3班に参加させていただきました。この①のところなんですが、私の意図としては、他校との交流というところが例えばイベントだったり、行事だけでなく、通常の授業カリキュラムの中でも例えばオンラインだったりを使って交流することで、市全体の教育の質が上がるという意味で記載をさせていただきました。</p> <p>なので、全く別というふうに個人的には申し上げていないんですが、それを踏まえて、例えば教育の質を向上させる取組（他校との交流など）というような形で、もし文章化していただくと私個人的には意図が伝わるかなというふうに考えました。以上です。</p>
委員長	<p>わかりました。</p> <p>そうしましたら、例えばこの細かいことはまた表現を考えさせていただきますけれど、他校との日常的なとか教育課程における交流というようなことを表現すればよいということですね。大変よくわかりました。ありがとうございます。</p> <p>では他のところでも結構ですので、どこかちょっとここがというのがありましたらお願いします。</p>
委員	<p>やはり①のところは若干引っかかっているというか、3班さんの回答って確かにそうだなと思うんだけど。</p> <p>人口減少は避けられなくて今後統廃合が繰り返されると、いわば一般論に近い話かなと。橋本市の小中学校の統廃合する中では、いわゆる距離の問題であるとか、事前の準備であるとか、統廃合していく上で様々な検討が必要であるというところで、統廃合が繰り返される可能性というところまでは踏み込んでないとは私は理解しているんですけど。</p>
委員長	<p>どうでしょうか。</p> <p>どこまで書くかということだと思んですけど、最初の人口動態のところでも申し上げたように、必ずしも減るかどうかっていうのは予想であって実際にどうなるかわからない部分ではあると思います。</p> <p>それともう一つ気になっているのは、統廃合は起こるだろうとは思んですけど、</p>

	<p>繰り返されるという言葉がそんな何回も統廃合されると。5年前にもやったのにまたもう1回というような感じにもなるので、繰り返されるという言葉がちょっと引かかるのかなっていう気はしますね。</p> <p>そんなに繰り返さなくてもいいぐらいしっかり考えてやってよという感じがするんですよね。1回やったら10年や10年以上は何とか持ちこたえられる方向で考えてくださいよねって多分思うかなと、繰り返されるって言葉がちょっときついかと思います。</p> <p>統廃合を検討することは現実問題としてあるんだけど、同じ学校が何回も何回もと言われるというイメージで取られると、あっちでも統廃合こっちでも統廃合ということかもしれないんですけど、ただこの書き方だと同じ学校がBとくっつき、その何年後かにはCともくっつきみたいなイメージになってるかなと。</p> <p>その辺の表現の問題だと思うので、検討いただいた方がいいかなとは思っています。</p>
教育委員会	<p>事務局からよろしいでしょうか。</p> <p>基本的には、この一般的な形で述べられているという解釈はしていました。</p> <p>その解決方法として例えば、統廃合だけに頼るのではなく、教育の質をどの規模の学校であったとしても上げていく必要があるのではないかと、そういう意味でおっしゃられたというように事務局では解釈をさせていただいたので、一般的にこういうことが繰り返される、可能性があるというような表現にさせていただいてもいいのかなとは思っています。</p> <p>だからこそ、そういう解決方法だけではなく、どの学校においても質を上げることで、また、先ほど委員が言われましたように、学校同士の横の繋がりで同じような教育カリキュラムの中で交流することで、学校の枠というのがある程度解消されていく中で、ちょっと未来志向の学校のあり方かなというようにも感じたので、まとめとしてこういう表現をさせていただきました。</p> <p>今、委員長が言われましたこと、それからお二人の委員が言われたことを踏まえ、ここの書き方を修正させていただきます。</p>
委員長	<p>よろしく願いいたします。</p> <p>他はございませんか。</p>
委員	<p>3ページのまとめのところで、統合への準備なんですけど、保護者、地域への説明うんぬんとなっていますが、これはそこに該当する生徒には十分説明するということが、生徒への準備ということは抜いてあるということですか。</p> <p>一番当該生徒が統合への不安とか抱えると思うので、準備からまず第1に子供への説明というようになるのかなと私は思ったんですが、解釈が違っていたら申し訳ありません。</p>
委員長	<p>保護者・地域への説明で、子供が入っていないのですがということですが。</p>
教育委員会	<p>こちらでグループ討議の付箋を確認させていただきましたら、かなりここには重ねていろいろ書かれてありました。市の教育方針の説明であったり、魅力ある教育力</p>



	リキュラムへの説明であったり、保護者、地域の説明というところで、たまたま子供たちへの説明付箋がなかったというところです。
委員	<p>僕ら1班の話し合いの中では、おそらくニュアンスの中では、もちろん保護者と地域だけでなく児童生徒さんへもというようなニュアンスは含まれていたと認識しているんですけども。</p> <p>おそらく付箋のところに、確かに児童生徒へもという言葉は書かなかったかもしれないので、個人的にはあってもいいのかなと思います。</p>
委員長	<p>付箋に書いていたかどうかはどちらでもいいので、入れた方が良ければ入れますが、統合への準備という中に子供さんを横並びで入れるのか、それとも子供たちへの前後のケア、説明やアフターケアとかそういうものをというように、また別にあげるのか。</p> <p>子供たちと保護者や地域の方との対応は違うと思うので、子供さんもというのであれば、子供さんにもちゃんとやりますよと皆さんの気持ちが伝わるような感じで入れていただいたらいいかなと思います。</p> <p>よろしいですかね。</p>
委員	<p>同列にというような言い方ではなかったと思うんです。</p> <p>ただやっぱり子供を抜くんじゃなくって、子供もちゃんと入れた上でということで1班では話し合いされたと思いますので、先ほど委員が言われたとおりだと思っています。よろしくをお願いします。</p>
委員長	<p>ではそのようにさせていただきます。</p> <p>他ございませんか。</p>
委員	<p>表記だけのことなんです。</p> <p>全体的なところで、子供という漢字が、子に人偏に共っという表記がされているんですけど、今、子供の「供」はひらがな表記が多いというか一般的になってきていると思っていて、ここは合わせていくのならどうするのかと、必要があるかなと思います。</p>
委員長	<p>子供の表記は、紆余曲折いろいろありまして、多分学校の先生はよくご存知だと思うんですが、ひらがなで「ども」になって最近は文科省とかの書類は、この人偏の共「供」になってきているんですね。</p> <p>文科省のところが変わってきたんですけど、もちろんその「供」というのをこの字を使わない方もいらっしゃるんです。一応、近年は行政とかそういうところから来る書類は皆さんこの字になっています。</p> <p>いろいろご意見あるのは私もよく存じているのですが、行政文章はこの表記です。他にございませんか。</p>
委員	<p>6ページのまとめというところを見ていただいて、①アンケートの結果から統廃合はおおむね肯定的に受け止められているのではないかと。について、どこかの班でひょっとしたらそんなまとめをさらされたのかわからないんですが、もう一度そのアンケート用紙を委員さんお持ちなんで見ていただいて、統廃合は肯定しますっていう</p>

	<p>感じに本当になっているのかなと、アンケートしてくれた保護者の方が総意で、オッケーと本当に出てるのかなあというのが若干心配です。</p> <p>それをまとめとして出していいもんかどうなんか。</p>
委員長	<p>肯定的にという言葉が少し強いのかなというか、ポジティブにみんなが肯定してるという、ポジティブにも受けとれますよと言ってるようにも取られるかもしれないですが、そういうふうに積極的に受けとめていただいている保護者の方もいるかもしれませんが、中にはこうなってきたら仕方ないなあという形で受け入れないとなあと思って受け入れてる方もいるとは思われるので。</p> <p>肯定的にという言葉が、おおむね受け入れられているぐらいで、少し皆さん仕方ないかなあ減ってきてるしというところをどう表現するか。</p> <p>多分、それを肯定的というように表現してくださったんでしょうけど、話し合いをしている中での雰囲気その言葉を捉えるときと、活字にしてそれだけを読んで捉えるときとではやっぱり違うので、ニュアンスが通じにくいあまり伝わりにくいというか、ずれて伝わるような言葉は外しておいてもと、特にそれがそのことがどうしても必要ということではなればと思ふんです。</p> <p>どこの班だったか、どうですかちょっとその肯定的という言葉について。</p>
委員	<p>おっしゃるとおりで、僕の主観が入ってる言葉だと思います。</p> <p>この委員会の文言として残す場合は、少しそういうように受けとめられる可能性もありますので、委員長がおっしゃったような意見でよろしいかなと思います。</p>
委員長	<p>ではそのように、理解して下さろうとしているとか、受け止めようとしてくださっているとか、そういったことかなあと思います。</p> <p>他にございませんか。</p> <p>では、まだ続きございますので、先に行かせていただきたいと思います。</p> <p>事務局の方、引き続きお願いいたします。</p>
教育委員会	<p>では、10ページから説明させていただきます。</p> <p>「防犯・防災対策と学校施設の改修」です。</p> <p>防犯対策、交通安全対策については、第2回、第3回検討委員会の中で、主に防犯対策では、不審者対応に対する防犯訓練の内容であったり、青少年健全育成会などによる児童の登下校の見守り活動や、また青少年センターによる巡回パトロールであったり、学校から送られてくる不審者情報である安心・安全メールなどを紹介しています。また交通安全対策では、横断歩道の渡り方の指導や、通学路の交通安全プログラムによってハード、ソフト両面からの対策の実施という内容を確認いただいています。</p> <p>検討委員会の議論では、学校が遠くなることに伴う登下校の防犯対策は、ますます重要になってくるというところで、見守りの方を含めた情報共有が大切である。</p> <p>といった内容や、橋本中央中学校の統合の際には、統廃合により自転車通学が新たに開始されたことで、その際の事故等の発生状況などの確認をいただきました。また、各中学校の自転車通学の内容も、全員が対象の中学校、2キロ以上が対象の中</p>

学校、また徒歩通学をされている中学校の状況の確認をいただき、自転車の事故で言いますと例年1件程度の事故の報告を受けているなど、現在の状況を確認いただきました。

まとめについては、防犯対策と交通安全対策の大きく2つに分けて、まず防犯対策については、①登下校の見守りの強化、また「きしゅう君の家」が現在形骸化されているというところの解消など、地域との協力連携は、登下校の安全確保の観点からは重要である。②不審者対応では、職員室から門扉が死角になっている学校があるので、そういったところの防犯カメラの設置の内容、学校の防犯と開かれた学校を今後、バランスよく両立していく必要があるのではないかといった意見が出されています。

交通安全対策については、③交通ルールやマナーに対する子供たちの理解を向上させることで、安全を確保、安全指導の充実を図っていくことが重要。④実際の通学路の危険箇所のチェックや、道路環境も草が生えていたりというところや危ないところの改善、ガードレールとかもですね、あとはマップ化などによる情報共有、周知というところで、ソフト、ハード両面から通学路の安全対策を実施していく必要がある。と、どの班においても中心的な考えという意見が発表されています。

次の11ページをご覧ください。

「災害対策・防災対策」についてです。

各学校の土砂災害特別警戒区域や、浸水想定区域の中に学校があるという学校がいくつあるという内容の確認であったり、そういった学校において、避難確保計画の作成であったり、それに基づく避難訓練を各学校で実施していることを確認いただいています。

検討委員会の議論では、土砂災害特別警戒区域の学校や、浸水想定区域内の学校の対応というものは、基本的には災害対応ということで市で検討すると説明し確認いただきました。また、地震対策として避難のことを考えると平屋建というのも検討して欲しいなどの意見が出されています。

また、検討委員会の中では、今年度の6月2日に橋本市で大雨があり、同じ月に第3回検討委員会が開催されましたので、当時の学校がかなり混乱していた状況や、保護者への情報共有など、これは今後の課題にもなるんですが、そういったところの意見が色々出されました。

まとめについては、先ほどもお伝えしましたが、防災対策は全般的に市が対応すべき内容というところで、検討委員会では記載しておりません。

次の12ページです。

続いて「学校施設整備」に関しましては、「学校の長寿命化対策」というテーマで検討いただきました。

まず、学校施設の基本的な方針の確認をいただき、築40年を経過している校舎や体育館などについては、予防保全的な長寿命化の改修というものを市で行っていることや、約3年程度の施工で現在進めているんですが、昭和50年代に整備されて

	<p>いる建物が本市では多く、今後、築40年を経過しても長寿命化を実施できない校舎の増加などが見込まれていることなども確認いただきました。</p> <p>検討委員会の議論では、まず長寿命化の優先順位の決定主体はどこですかという確認、実際の長寿命化の内容というのは、こういった工事がなされるのか、また新築と長寿命化の費用の比較といったところの確認等もいただいています。</p> <p>また、現在、城山小学校の改修状況であったり、高野口中学校の状況について危険箇所が一部あったり、雨漏りなどもあるというところの意見も出されました。</p> <p>まとめでは、学校施設で特に危ないポイントというところを、危険ポイントとしてチェックしていただき児童生徒の安全確保に取組む必要があるのではないかと。また、環境面でいうとトイレの整備など、学校施設の改善にも取組んでいただきたいという内容にしています。以上になります。</p>
委員長	<p>では、Cのところ「防犯・防災対策と学校施設の改修」というところで、何かございますか。</p>
委員	<p>防災の中で、私が質問をしたときに答えていただいた、学校によってこの6月2日の対応は違うと。違って当たり前なんですけども、基本的なマニュアルが統一されているのかなという疑問を感じました。</p> <p>是非こういうマニュアルを、統一的なものしっかりしたものを置いておいて、それを見てなおかつ、校長の判断でその時に合わせた各学校の対応をしていただくのが一番いいかなと思うんですが。</p>
委員長	<p>その点は、市で基本的な方針というのは決まっていると思うんですが。</p>
教育委員会	<p>災害対応に関しては、学校の方で毎年、教育計画の中で避難計画や、避難訓練というのを詳細に作っていただいています。</p> <p>ある程度、学校の方でそれらについては、校長先生方の交流の中で共有できている部分もあるのですが、地域によってその地域に即した避難訓練という特徴として行われていますので、その部分については、やはり学校長の判断というのも大きく影響してきます。</p> <p>この6月2日の集中豪雨による学校での児童引き渡しにおける混乱について、また学校給食等の取り扱いといろいろございました。</p> <p>これについては、振り返りの話し合いも行われていますので、これを教訓にして委員から言われました統一したマニュアルとまではいきませんが、1つの目安というものをお示しする中で学校と地域の実情を踏まえた避難計画、行動マニュアルというものを毎年作成していただくよう、校長会と話し合いを進めていきたいと考えています。</p>
委員長	<p>他にございますか、よろしいですか。</p> <p>特にないようでしたら、Dの「地域コミュニティの機能」について説明をお願いします。</p>

教育委員会	<p>そうしましたら、13ページからになります。</p> <p>「地域コミュニティの機能」については、「学童保育」「共育コミュニティ」「地域防災」です。</p> <p>まず「学童保育」からですが、現在の橋本市では、市内の小学校に25カ所の学童保育を設置しており、NPO法人、保護者会、一般社団法人により実施され、児童登録者数は、現在900人程度で近年増加傾向にある状況の確認や、また事例紹介として、奈良県五條市と青森県黒石市の統廃合した後に学童保育をどこに設置したかという、地域の近くに置いているのか、学校の近くに置いているのかという違った対応をされた事例を紹介させていただきました。</p> <p>検討委員会の議論の中では、学童については市の方針の確認等もありましたが、実際の保護者の立場ですと、重視するのは送迎の負担というところで、徒歩での移動で送迎の負担がないのが望ましいという意見や、また保護者のニーズに合わせて選択肢があれば便利ということで、学校の中の施設ということになるんですが、学校で預かってもらう方が安心だとの意見もありましたので、保護者のニーズに対応できるような形をとっていく必要があるのかなという意見が出されています。</p> <p>また、学童保育と共育コミュニティが一緒に取り組める方法を、現在取り組まれているところも一部あるというところで、今後考えていく必要があるのではないかなという意見も出されています。</p> <p>まとめとして、そういったことを総括し事務局で作成しましたが、学童保育を希望する保護者が年々増加している中で、まずは児童を安心して預けられることが重要である。また、送迎などの距離、時間などで、保護者負担の軽減ということも実現していくことが望ましく、保護者のニーズに沿った学童保育の環境を構築していく必要がある。今後は、子供の居場所づくりの観点から、学童保育と共育コミュニティが連携して取り組める方法を考えることも大切である。という内容にさせていただいています。</p> <p>続いて14ページです。「共育コミュニティ」になります。</p> <p>こちらでは、図書ボランティアなどの学校支援や、地域清掃などの児童生徒の地域貢献など、学校を核とした地域づくりが行われていることや、橋本市では、旧中学校区に1つの共育コミュニティ本部が設置されています。橋本中央中学校は現在、3つの共育コミュニティが関わってくれており、地域連携に関してのメリットやデメリットなどを検討委員会の中で整理をしています。</p> <p>こういった中の検討委員会の議論では、池田小学校の事件があり、地域に開かれた学校がやりづらくなっていないか気にされているところや、共育コーディネーターの立場で言うと、学校は子供の数、規模、望むことなどいろいろ違いがあるので、活動を進めるには、学校や地域との連携が必要になってくるであったり、また試行錯誤して進められているという状況の紹介や、地域のボランティアに頼っている部分が多い状況ですが、今後は、PTAなどにも加わってもらう取組を進めているなど、また、恋野地区では地域から情報発信がいろいろ行われており、地域での交流</p>
-------	--

	<p>が盛んであるなどの紹介をしていただいています。</p> <p>こういった内容のまとめとしては、①学校関係者の繋がりの強化というものが重要で、生徒と保護者の繋がり、保護者どうしの繋がり、学校と地域との繋がりを強化していくことが重要であり、統廃合においても、今ある繋がりを大切に強化していく必要がある。としており、②地域との繋がりを持てるような教育活動の充実を図っていく必要があるとしています。</p> <p>最後に15ページ「地域防災」です。</p> <p>学校は、災害時の拠点避難所になっているのですが、そういったハード面だけではなく、学校や地域・行政、3者の連携の場としての役割を果たしているということで、地域や行政と連携しながら防災体験学習、防災キャンプなど防災について子供たちが学ぶことで、子供たちの防災意識もちろんのこと地域の防災力としても全体的に高められているということを確認しています。</p> <p>検討委員会の議論では、一部、統廃合で学校や体育館がなくなった場合は、避難所もなくなるのではといった意見や、現状、地域と一緒に学習体験、防災学習をしているところもあるし、学校独自でしているところもある。そういったところもあるのですが、地域と一緒にできないかという話が学校運営協議会でも出ているというような状況の紹介などもいただきました。</p> <p>まとめとして、こちら事務局で作成しているのですが、学校では、防災学習や避難訓練等を行い、子供の防災意識の向上を図っています。なかには自治会、自主防災会と一緒にしている学校もあり、子供の防災意識の向上が地域の防災力の向上に繋がっているケースが見られる。</p> <p>統廃合後の避難所等への施設活用も検討しておく必要があるが、地域とともに防災学習を行える地盤づくりも大切である。としています。</p> <p>説明は以上になります。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>では、Dの地域コミュニティの機能のところについて、何かございますか。</p>
委員	<p>14ページのまとめですけど、学校と地域との繋がりを強化していく、とあるんですけども、現在私のとこで感じるのは、学校から地域に対して何もないので、何を強化するのか中身がわからない。</p> <p>地域に対して何かお知らせといってくるのはあるけども、協議したことがないので学校と、何を強化するのかなと疑問が今わいてるんですが。</p>
委員長	<p>学校と地域との繋がりがよくありますという地域の方もいらっしゃると思いますが、学校の方から地域に何か発信しているかっていうとそれはあまりないということのようで、これは、学校とか地域によって違うのかなと思うんですけど。今、学校から、かなり地域の方へいろんなものを発信しているのかなと思うんです。学校運営協議会になってから地域の方も入っているのですが、いかがですか。</p>
教育委員会	<p>共有コミュニティと学校運営協議会を担当させてもらっているんですが、この学校運営協議会が各学校にあるということで、一番は学校の課題を話してもらっていま</p>

	<p>す。その中で私も地域へもっと発信してくださいねというのは言っています。学校が一体どんなことを地域の方に協力して欲しいのか、そういうのをどんどん言っていきたいと思います。</p> <p>当初運営協議会に入った時も、学校はこんなことやっていますという報告ばかりで終わっていたんです。いやそうではないですよと、地域の人も何の会かわからないなという意見も出ていまして、地域側からも学校の方にもっと言ってくれたらいいんですよということを言っていました。</p> <p>なので、学校運営協議会がこれから動いていくと思いますので、地域の方はそれに応えていただけたらなと思っているところです。</p> <p>そういう点をこれから強化していく必要があるのかなと思います。</p> <p>今、委員が言われたように、確かに学校からの情報発信は弱いところではありますので、そこを強化していきたいなと思っているところです。以上です。</p>
委員長	他に何かございますか。
委員	<p>今、学校からの発信が弱いとご指摘を受けた感じなんですけど、学校の活動を地域の方ということでは、ホームページや、公民館には学年通信を持って行って貼ってもらったりとできることはやっているんですけど、なかなかそれが受け入れられてないということ、今ひしひしと感じています。</p> <p>地域に対してということで先ほどもお話がありましたけども、学校運営協議会であったり、あといろいろ青少年健全育成の組織であったり、そういうところからは学校の困り感というか、困ってることはどうぞ言うてくださいと、できることはサポートさせてもらいますということで、学校には言ってきてもらっています。</p> <p>例えば、花の植え替えしますのとか、そういう情報で助けていただいたり、交通安全の面で助けていただいたりということで、関係する組織には学校の困り感を伝えたり、何とかありませんかねっていうような話をさせてもらっているんですけど、ただ区長さんに直接お願いに行くっていうようなことは少ない。</p> <p>地域という大きな枠組みがあって、発信というのは自分たちからすると、助けていただきたいことは伝えてはいるんですけど、それがその部署に行ってるというと語弊があるかもしれませんが、伝えてところが地域という大きなところにドンといている、そういう感じではないので伝わってない部分があると思います。</p> <p>だから助けていただいたことに関しては、何らかのやっぱり学校だよりであったりということでお返しするとか、こういうことをしていただきましてありがとうございますってことで、伝えることしか学校ってなかなかできない。</p> <p>あるいは、ボランティアの方に来てもらってお礼をするという、そこらぐらいしか伝えることできないんですけど、だからそういう形でちょっと言い訳のようになっていますが、伝わり方がなかなかうまくいってないことはあると思います。</p>
委員	<p>たぶん私が発言させていただいたものだと思うんですが。</p> <p>共育コーディネーターであるということもなんですけど、私の子供も小学校、中学校</p>

	<p>といますので、地域の小学校の近くにお住まいの方がミシンボランティア、図書ボランティアで来てくださる、学校に入っただいてる方ももちろんいらっしゃいますし、先ほどおっしゃった地域差というのはあると思うんですが、ここで発言したことは、地域って大きなくくりなんです、小学校の近くとかその校区内に住んでいらっしゃる方、例えば登下校でお散歩がてらにすれ違って、こんにちはって見守っていただいているだけでも関係を持ってもらっているという認識で、私自身それで見守っていただいている、子供が安全に通えるための大人の目がそこにあるという、そういう少しずつの積み重ねは大切だなというところで、学校と地域は切っても切れない関係で見守っていただいている感謝とともに、切ってはいけない大切なものだということで強化というより繋がりは大切である、繋がりは持つておきたいとしました。</p> <p>今、先生方だけだと目の届かない授業、すごくカリキュラムが増えてきているので、そういったところのミシンですとか調理実習ですとか、校外学習で外へ行くっていう時に、安全を見守っていただくという大人の目が、地域の方によって助けていただいているところは感謝とともに、お願いしますっていう気持ちと、繋がりは大切ですねということをお話させていただきました。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>学校の方から公的なというか公式な形でいろいろお伝えするっていうことが、いろんな方にいつも関わっていただいている福祉の方であるとか、青少年育成の方とそういったところとは関りがあるんですけど、そうじゃない方とのコミュニケーションチャンネルが、なかなかしっかりしたものがまだ築けてないのかな。</p> <p>でもその一方では、毎日、見守っていただいているっていうのは保護者の方もすごく分かっていらっしゃるって、やっぱり地域の方が見守ってくださっているということが非常に大切だと思っいらっしゃるという、そちらの日々、何のことはなくやっていただいているかもしれない、そういうことが非常に繋がりとして基本大事だということがおっしゃられたかったということですね。</p> <p>多分よくあるのは、小学校と中学校ではまたちょっと違うので、小学校の方が地域とより関わりが持つて活動も多いし、子供なのでということもあるんですが、でも学校運営協議会というものを作って、地域とともに学校をやっていくとしておりますので、今後はもっといろんな方とのコミュニケーションチャンネルを持つてるような方法を考えていくということも込めて、やはり地域との繋がりにていうのを大切にしていくという言葉は入れておいたほうがいいんじゃないかなと思います。</p> <p>いかがでしょう、他にございませんか。</p> <p>ちょっと多岐にわたりましたが、一応このシートの全ページ確認をさせていただきました。次回以降ですね、どのように進めていくかということで説明をさせていただいて、皆様のご意見をいただくということにしたいと思うんですが、資料2をご覧ください。今、資料2のところに答申の目次（案）というものを作らせていただいております。この目次（案）について事務局から説明をお願いいたします。</p>



<p>教育委員会</p>	<p>では、資料2を見ていただきたいと思います。</p> <p>第1章から第4章ということで、これからまとめていただく答申を4つの章に分けて目次を作成したいと考えています。</p> <p>まず「第1章 橋本市立小中学校適正規模・適正配置基本方針の見直しについて」から「第2章 適正規模・適正配置に関する保護者アンケート」に関しましては、本日、資料1で調査審議していただいた内容と、これまでの検討委員会での意見を反映し、その内容を取りまとめたいと考えています。</p> <p>ほぼ忠実に第1章、第2章については、小項目含めてタイトルをつけていきたいと考えています。提供させていただいた資料の中から一部データも抜粋をさせていただき、今日、審議いただいた検討シートに基づき忠実にコンパクトに的確にまとめたいと考えています。</p> <p>次に「第3章 学校適正規模・適正配置の基本的な考え方」につきましては、現行の国の標準や市の基本方針を踏まえ、教育委員会に対してこれまでの検討委員会として考えてきたことを、学校規模や学級規模に関する提言とその考え方、理由を記したいと考えています。</p> <p>それから「第4章 学校適正規模・適正配置に取り組む上での留意点」につきましては、第3章の提言について、これまで議論を活発に交わしていただいたテーマ「児童生徒の安全」「学校施設の整備」「きめ細やかな学習指導と教職員の指導力の向上」「児童生徒の環境変化への対応」「地域と学校の協働による魅力ある学校づくり」の項目を設定させていただき、これまでの検討委員会からの意見をそこに留意点として付していくという構成と事務局では考えています。</p> <p>説明は以上です。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>この目次については、事前に私からも意見を出させていただきました。</p> <p>本来ならば3章の基本的な考え方というのを出すのが、この検討委員会の目的ということになるのかもしれないんですが、私としては、いいか悪いか、するかしないかということではなくて、統合するにしてもしないにしても、こういう点について留意していただかないといけないんだということを、皆さんがおっしゃっていただいたことをしっかり留意点として教育委員会や行政にお示しする。</p> <p>しっかりとした上で答申としてお渡ししたいということで、4章のところ1章のところと重なる内容が書かれることもあろうかと思いますが、そんな同じことを2回書いてもと見えるようなこともあるかもしれないんですが、改めて章を起こして、しっかりと留意して欲しい点をまとめるという形をとらせていただくということで、4章だてとなっています。いかがでしょうか。</p> <p>ご意見何かございますか。</p> <p>章だけのタイトルをご意見ありますかと聞かれてもなかなか言いづらいかなと思うんですが、今後どうしていくかということですが、進め方も含め、私と事務局で今日出していただいた検討シートを基に、答申内容を作成していく作業をいたしま</p>

	<p>す。基本第1章のところは、これまでこちら事務局が説明した数字であるとか、グラフであるとかアンケート結果を流し込んでいきます。</p> <p>その後、今日「まとめ」という形でさせていただいた、皆さん方から出していただいた意見を第4章の留意点のところへ入れていきます。</p> <p>という形にさせていただき進めて行く、10月24日に皆さんにご確認いただいてご意見をいただくということになろうかと思えます。</p> <p>今日、見直し検討シートを確認いただきましたので、それに沿った形で内容を入れていく作業になると思えます。</p> <p>いかがでしょうか、そういう形で進めさせていただいてよろしいでしょうか。</p> <p>〔はい〕</p> <p>10月24日に、私と事務局で原案をまとめさせていただいたものを、お示しするというにしたいと思えます。</p> <p>ちょっと日数的に日がないので、本当だと前もってお送りし先に見てきていただくとすごくいいんですけど、これからやり始めますので、事前送付が難しいかなと思えます。当日見ていただくということで、検討委員会での時間がかかるかもしれませんが鋭意進めさせていただきます。よろしいでしょうか。</p> <p>〔はい〕</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>全般的なところでご意見ございましたら、よろしいですか。</p> <p>では、事務局の方から連絡ありますか。</p>
教育委員会	<p>そうしましたら、最初の次第にも記載していますが、次回の第8回は10月24日になります。今まで木曜日でしたが、火曜日となりますのでご注意ください。</p> <p>また、第9回を11月15日で予定しています。</p> <p>次回10月24日、お忙しいとは思いますが、皆さんご参加よろしく願いいたします。本日はありがとうございます。</p>
委員長	<p>前回、皆さんが大変議論していただいたので、今日は「まとめ」を確認いただいて、何とか答申にまとめていくという流れができ上がったかと思えます。</p> <p>ご協力大変ありがとうございます。</p> <p>また10月24日答申（案）を検討いただくということで、まだまだハードなお仕事が続きますどうぞよろしく願いいたします。</p> <p>涼しくなってきましたのでお風邪などお召になりませんように、お疲れ様でした。</p>